

2004 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 28 日作成)

委員会名	電磁環境小委員会 電磁場計測評価 WG	主 査 名：平井 淳一
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会	委員長名：銚井修一
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	現在，建物空間における電磁環境評価が各機関，各所で行われているが測定法ならびに評価法が統一されていないのが現状である。今後，建物空間での良好な電磁環境構築には，この基礎となる電磁場の計測・評価方法の統一化および標準化が必須である。本ワーキングではこの標準化作業を実施した。	
委員構成 (委員名(所属))	平井淳一(鹿島)，影山健二(竹中工務店)，片野正昭(セトヲ硝子)，黒沼 弘(協立電子工業)，三枝健二(日大)，佐藤洋(国土交通省)，志田浩義(トヨタ EMC イングリア)，富樫元康(日本板硝子環境アメリ)，長田耕治(清水建設)，橋本敏彦(アジレントテクノジ)，堀之内淳(光洋産業)，森田 篤(安藤建設)，吉野涼二(大成建設) 2005/2 退会	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	50,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004.3.26/10 名， 2004.5.14/9 名， 2004.7.2/11 名， 2004.9.10/11 名， 2004.10.15/12 名， 2004.12.3/12， 2005.1.21/9， 2005.3.4/10
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>< 成果の内容 > 過去に提案した「建築物を対象とした各種電磁環境計測法」の統一化および標準化を目指し，審議をし，基本となる計測案を仮定した。また，新たに簡易な建物電磁シールド性能測定法として，到来波による測定方法についての検討・審議を開始し，各種の実測データの収集・解析を実施した。これらの活動の結果，本年度は標準化推進のための十分な基礎検討資料を得た。</p> <p>< 成果の価値 > 電磁場の計測・評価方法の統一化および標準化に向けての技術的検討の基礎資料及び到来波法に関する検討基礎資料が完成した。来年度は本資料を基に展開を図ることにより所期目標の達成を目指す。</p>
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初の活動計画通り。
その他評価すべき事項	特になし